



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本第一記念館内 TEL (0820) 78-2514

施設紹介

海里山の循環を 考える農作業体験



宮本第一記念館

本館では周防大島の恵まれた自然環境を生かし、地域のみなさんの協力も得ながら、開館以来ずっと子供向けの農業体験を実施しています。

これは、本館の愛称にもなっている故・宮本常一の思いを引き継いだ取り組みでもあります。宮本は移り変わる日本人の暮らしを見



【写真＝肥料となる海藻を撒く】

つめながら、「本当の進歩とは？」「進歩していると思いがら、退歩しているものもあるのでは？」というような疑問を投げかけています。宮本はお百姓さんや、漁師さん、

大工さん、石工さんといった技術をもった人たちの知恵を記録した人です。ですから、急激な機械化、情報化のなかで、自然と向かい合った人間の知恵が失われているのではという思いを強くしたのかもしれない。

特に最近では、子供たちに海里山の循環を感じ取ってもらうと、農園の土づくりに海藻肥料を使うようにしています。周防大島をはじめ、瀬戸内地域では古くからカイソウを肥やしとして利用していました。ホンダワラやアマモといったカイソウが地味を肥やして、江戸時代には爆発的な人口増加を支える

要因の一つであったともいわれています。

ミネラルたっぷりの海藻が作物を育てるのに役立つこと。それが山からの湧水に交じって再び海を豊かにしていくということ。そして里に住む人の営みが関わっているということ。そんな「海里山」の循環作用の一端を、農業体験を通じて子供たちにも感じてもらえればと思っています。

5月には毎年、サツマイモの植え付けをして、秋の収穫時には芋掘り体験、そして収穫したサツマイモを道の駅などで販売させていただき、収益の一部は本を購入して東和図書館に寄贈しています。

今年も立派なサツマイモができるように土づくりから張り切っています。

古文書解読講座が 始まりました



八幡生涯学習のむら

本講座は古文書の解読を通して周防大島の歴史を学ぶことを目的としています。今年度も「月窓之巻」という史料を読み進めています。これは元松山藩士の奥平貞幹という人物が、明治維新後に四境の役の戦後処理について回想した文書です。これまでに、奥平がこの史料を書き残した動機、そして実際に長州藩との折衝を行う部分を読み解いていきました。奥平は藩主の内命を受けて、交渉に赴くことになるのですが、「身分相応とは思えない」としながら、藩の危険を取り除くため会談に臨んでいた心情を読み取ることができました。また、長州へ松山藩が出兵に至った経緯を説明し謝罪の書簡を出して帰途についたこと、さらにこの謝罪文書については「何らかの問題があっても自分が責を負う」という表現があり、奥平の覚悟と長州藩側からの報復を怖れている様子がうかがえます。今年度は、さらに交渉が進んで講和へと向かう過程を読み進めていきます。

『みえない宝もの』



日本八ワイ
移民資料館

当資料館のお客様は、ほとんどが大人の方ですが、先日ご両親と一緒に来てくれた男の子。すぐに館内のどこかに消えていきました。しばらくして戻ってくると「あつちですごいもの見つけたよ。来て！」と。ついて行くと「これ！」と指さしたのは移民が持ち帰った大きなトランク。

「すごい宝箱！」と目を輝かせています。

その笑顔に特別に中を見せてあげると当然ながら何も入っていません。しばらくの間沈黙……。テレビやゲームの世界に出てくるようなお宝がいつぱい入っていると思っただけでしょうか。昔々に海を渡った人々は大変な苦勞をしながらも帰国の際には、ふるさとで帰りを待つ家族や親戚への思いを込めた「お宝」をこのトランクにぎっしり詰め込んで持ち帰ったのでしよう。

役目を終えたハワイ戻りの多くのトランク。それらの中には今もどこかでひっそりと時の移り変わりを待っているものもあるかもしれませんね。



文化の伝承

先生たちの
文化財巡見
バスツアー

町教育委員会では、町内小中学校の先生方の教育力向上を目的として、ステップアップセミナーと題した研修会を開催しています。近年は、ふるさと周防大島を愛する子供たちを育てるため、先人たちの暮らしを勉強しようと、町内の文化財や、風景から見えてくる集落の歴史を紹介しています。

5月のセミナーでは、宮本常一記念館学芸員がガイドを担当してバスで島内を一巡。さらに日本ハワイ移民資料館、大多満根神社(瀬戸公園)、服部屋敷を見学。先生たちは大島の風土、暮らしを学ぼうと説明に聞き入っておられ、また学芸員に熱心に質問をされる方もいました。



【写真=ハワイ移民資料館スタッフのパノラマ写真の解説を聞きながら、メモをとる先生たち】

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼サンセットヨーガ2016

陸上競技場の広いフィールドの中で、夕日を浴びながらのヨーガ体験。

夏の光、風、音や匂いを全身で感じながら、カラダとココロ、放り出してみませんか。初心者、おひとりさま、子どもさんも大歓迎。夏の夕暮れ、気持ちのいい時間をぜひ一緒に。



【日時】7月23日(土) 18時~19時30分
(受付開始17時30分)

【場所】陸上競技場(雨天時・総合体育館)

【講師】三浦さおり(日本ヨーガ禅道友会所属)

【参加費】100円(保険料込み)

【持物】運動が出来る服装、汗拭きタオル、飲料
※人工芝の上で行いますので必要な方のみヨガマット(またはバスタオル)

【定員】先着50名(要予約) 年齢制限はございません。ただし小さいお子様は必ず保護者の方との参加をお願いいたします。

【申込方法】電話、メールまたは申込み用紙に必要事項を記入の上、総合体育館窓口、FAXにて申込みをお願いします。

【問い合わせ】

Tel. 0820・78・2512

Fax 0820・78・2513

Email info@sports-oshima.com



宮本常一記念館

▼ヘルシーな減塩梅干しと梅酢づくり体験
初夏の保存食をつくってみませんか?

【開催日時】6月25日(土) 10時30分~12時

【会場】宮本常一記念館研修室

【参加費】500円(材料代)

【準備するもの】エプロン、三角巾、容器(5リットル漬け物樽、4リットル果実酒ビン)

※容器が必用な方はお申込みの際にご一報ください。

【定員】20名(申し込み多数の場合は先着順)

【締め切り】6月21日(火)

【申し込み】Tel. 0820・78・2514

八幡生涯学習のむら

▼なむでん踊りが開催されます

昨年9年ぶりに復活したなむでん踊りは、久賀に伝わる伝統芸能です。田植えの後に植えた苗に疫病や害虫が寄つてこないことを祈念して行われる虫送り行事です。約300年前に、神屋寺(現久屋寺)の住職が節回しを考案したことで芸能的に深化しました。

昭和49年には県の文化財指定を受け、長く保存会を中心に活動してきました。この機会に郷土に残る伝統芸能にふれてみませんか。

【日程】6月25日(土) 14時~17時

【場所】久屋寺出

発、八幡生涯学習のむら、久賀農協会館

前を回って追原公園で法要の後、流灌頂。



日本ハワイ移民資料館

▼第9回アロハ音楽祭

ゲストに宇部の本格派ハワイアンバンド「クワイランダーズ」を迎え、子供達のフラ、和楽器によるハワイアン音楽などをお届けする周防大島発アロハな音楽祭を開催します。是非ご鑑賞下さい。当日ロビーにおいては、レイメイキング体験講座や日本ハワイ移民資料館からの挑戦問題を用意しております。アロハキャンペーン企画としてアロハシャツの特別販売等も予定しております。

【日時】6月25日(土) 13時30分~16時

【場所】山口県大島郡周防大島町小松

「大島文化センター・ホール」

※当日はみんなでティキー体を作り上げます。ぜひ会場へお越しの上ご参加下さい!

▼おはなし会「ハワイ・モロカイ島からのメッセージ」

ハワイ文明発祥の聖地であり、同時にフラ発祥の聖地とも伝えられるハワイの小さな島、モロカイ島出身ハワイアン、クム・レイオフラニ(アンティ・ヴァール)氏が初来日。全国各地をまわりフラのワークショップを開催されます。今回周防大島にも初来島。日本ハワイ移民資料館において、おはなし会を開催しますので、この機会にぜひ、ご来館ください。

【日時】6月19日(日) 16時30分~18時

【場所】日本ハワイ移民資料館

【講師】クム・レイオフラニ(アンティ・ヴァール)氏

【通訳&ナビゲーション】西田純子氏

【申し込み】Tel. 0820・74・4082

【定員】30名(多数の場合は先着順)

※参加無料、ただし入館料が必要です。

